

## はじめに

愛知県では、リニア中央新幹線が全線開業する 2040 年頃の社会経済を展望し、2030 年度までに取り組むべき重要政策の方向性を示す「あいちビジョン 2030」を 2020 年 11 月に策定しました。

ビジョンの推進に当たっては、計画期間を前期（2021～2023 年度）、中期（2024～2026 年度）、後期（2027～2030 年度）に分け、毎年度、年次レポートを作成しながら、ビジョンで掲げた、4つのめざすべき愛知の姿「すべての人が生涯輝き、活躍できる愛知」、「イノベーションを創出する愛知」、「世界から選ばれる魅力的な愛知」、「危機に強い愛知」の実現に向けて、着実に取組を進めてまいりました。

ビジョン策定から 5 年が経過し、この間、感染症の流行や国際情勢の不安定化など、社会経済に大きな影響を及ぼす出来事が相次ぐ中、本県では、ジブリパークやスタートアップ支援拠点「STATION Ai」、I Gアリーナのほか、2026 年に開催予定のアジア・アジアパラ競技大会などの大型プロジェクトが着実に進捗するなど、めざすべき愛知の姿に向け、大きく前進しているものと認識しております。

一方で、私たちを取り巻く社会経済環境の変化は激しく、少子化の加速や人手不足の深刻化のほか、生成 AI の急速な発展・普及、世界的な物価上昇などが見られます。また、東京一極集中はコロナ禍後に再加速しており、若年層を中心に転出超過が顕著となっています。さらに、今後は育成就労制度の創設に伴い、外国人材の流動化が進むことなども見込まれています。

こうした中、ビジョン推進中期の 2 年目となる今年度は、近年の社会経済情勢の変化を踏まえた、愛知の地域づくりを巡るテーマについて分析を行うとともに、新たな政策課題を踏まえた取組の状況や今後の方向について紹介する「あいちレポート 2025」を作成しました。

引き続き、県民の皆様をはじめ、国、市町村、企業、各種団体など、関係の方々とともに、愛知の地域づくりに全力で取り組んでまいりたいと考えております。多くの方々に、このレポートをご活用いただけることを心から願っております。

2026 年 3 月



愛知県知事  
大村秀章

# 目 次

## 年次レポートの作成趣旨

### 第1章 愛知の地域づくりを巡る現状と課題

#### 1 愛知県の人口構造の変化

1 我が国における人口推移	1
2 本県における人口推移	3
3 世帯構成の変化	11
4 少子高齢化の進行	13

#### 2 世界的な人材獲得競争の激化

1 労働力を巡る現状	16
2 外国人の就業状況	19
3 高度人材の獲得競争の激化	23
4 近隣諸国における外国人材のニーズの増加	27
5 技能実習生の状況及び育成就労制度について	31
6 外国人材の受入れ環境の整備について	33

#### 3 デジタル化の進展と産業・就業構造の変化

1 第4次産業革命による変革の波	35
2 本県の産業構造	39
3 就業構造を巡る現状と課題	45
4 イノベーション環境	57
5 本県の農林水産業の現状と課題	62

#### 4 愛知県を取り巻く経済環境の変化

1 最近の物価・賃金・金利等の状況	72
2 本県の輸出入の状況	80
3 不安定な世界情勢	82
4 企業の海外進出・誘致の動向	83
5 訪日外国人の動向と本県の状況	86
6 国外を訪れる日本人の状況	90
7 空港の利用状況・国際会議やイベントの開催状況	93

#### 5 暮らし・労働・学びの多様化

1 結婚・出産の動向	95
2 所得格差	99
3 高齢化の進展と医療・介護の課題	101
4 障害を抱える方の現状	104
5 外国人県民の増加・多国籍化を踏まえた現状・課題	105
6 子どもを取り巻く現状・課題	108
7 労働の多様化	110
8 学びの多様化	123

#### 6 リニア中央新幹線の整備進展と日本中央回廊の形成

1 リニア中央新幹線の整備状況と開通見通しの変更	128
2 日本中央回廊の中心へ	130
3 東京一極集中の再加速	133
4 3大都市圏の中での愛知・中京大都市圏の個性や強み	135
5 中京大都市圏の交通ネットワークの状況	140
6 中京大都市圏のゲートウェイとしての機能	143
7 北陸圏との連携関係の動向	147

<b>7 人口減少社会における都市環境の変化</b>	
1 社会インフラの状況	150
2 都市環境の変化	154
<b>8 持続可能な社会の実現</b>	
1 「低炭素社会」から「脱炭素社会」への現状と課題	158
2 サーキュラーエコノミー（循環経済）への転換に向けた現状と課題	166
3 生物多様性の保全（ネイチャーポジティブ等）	171
4 環境・経済・社会の統合的向上をめざす持続可能な「循環共生型社会」へ	173
<b>9 災害・犯罪リスクの増大</b>	
1 南海トラフ地震や風水害などの災害リスク	178
2 災害時における要配慮者の増加	186
3 多発する高齢者の交通死亡事故	188
4 多発する県民に身近な犯罪	191
<b>10 県内の各地域の現状と課題</b>	
1 各地区の現状と課題	196
2 地域間の結びつき	248
3 本県の地域構造の課題	255

## 第2章 めざすべき愛知の姿の実現に向けた取組と今後の方向

### 第1節 すべての人が生涯輝き、活躍できる愛知

#### 1 次代を創る人づくり

1 創造性を伸ばす教育の推進	259
2 グローバル人材の育成	263
3 多様性を尊重する社会づくりの推進	263
4 多様で魅力のある学びの場の保障	266
5 質の高い教育の提供	270
6 地域連携	272

#### 2 すべての人が生涯にわたって活躍できる社会づくり

1 女性の活躍促進	275
2 人生100年時代に対応した社会づくり	278
3 若者や就職氷河期世代などの活躍促進	281
4 障害のある人の活躍促進	283
5 外国人県民の活躍促進	285

#### 3 安心と支え合いの社会づくり

1 出会いから結婚、妊娠・出産、子育てまで切れ目のない支援	287
2 超高齢社会における支援体制の整備	290
3 障害のある人の地域生活と医療・療育の支援	293
4 困難を抱える女性・子ども・若者などへの支援	293

#### 4 豊かな時間を生み出す働き方が可能な社会づくり

1 テレワークを活用した働き方の促進	297
2 ワーク・ライフ・バランスのさらなる普及拡大	298

### 第2節 イノベーションを創出する愛知

#### 1 イノベーションを巻き起こす力強い産業づくり

1 STATION Ai を中核とした国際的なイノベーション創出拠点の形成	302
2 次世代産業の育成・強化	305
3 中小・小規模企業の持続的な発展と生産性の向上	310
4 産業人材の育成・確保	311

5	スマート農林水産業等による生産力の強化	313
6	県産農林水産物の需要拡大	323
<b>2</b>	<b>世界とつながるグローバルネットワークづくり</b>	
1	MICEの誘致・開催と国際観光都市の実現	327
2	アジア・アジアパラ競技大会を活用したグローバルなネットワークづくり	330
3	海外からの投資・人材の獲得、県内企業の海外展開支援	331
4	海外とのパートナーシップの構築	333
<b>第3節</b>	<b>世界から選ばれる魅力的な愛知</b>	
<b>1</b>	<b>日本中央回廊の中心を担う大都市圏づくり</b>	
1	リニア中央新幹線の開業効果を波及させる道路・交通ネットワークの整備	336
2	名古屋都心部への高次都市機能等の集積	340
3	中京大都市圏のゲートウェイ機能の向上	342
4	交流圏の拡大に向けた戦略的広域連携	346
5	持続可能な地域づくり	347
<b>2</b>	<b>選ばれる魅力的な地域づくり</b>	
1	アジア競技大会・アジアパラ競技大会の開催と愛知国際アリーナ（IGアリーナ）の整備	350
2	ジブリパークを活用した圏域全体の魅力発信	353
3	愛知発の文化芸術の育成・発信	355
4	訪日外国人旅行者のさらなる受入れと持続可能な観光の促進	358
5	居住地としての魅力の創造・発信	360
<b>3</b>	<b>持続可能な地域づくり</b>	
1	2050年カーボンニュートラルを見据えた地球温暖化対策の推進	363
2	循環型社会の実現	369
3	生物多様性保全の推進	371
4	持続可能な社会を支える人づくり	373
<b>第4節</b>	<b>危機に強い愛知</b>	
<b>1</b>	<b>危機に強い安心・安全な地域づくり</b>	
1	ハード・ソフト両面からの防災・減災対策	375
2	交通事故や犯罪など安心・安全を脅かすリスクへの対応	382
	<b>あいちビジョン2030の進捗管理指標一覧</b>	387
	<b>用語解説</b>	391

# 年次レポートの作成趣旨

## 1 作成趣旨

- 本県では、2040年頃の社会経済を展望し、2030年度までに重点的に取り組むべき政策の方向性を示す「あいちビジョン2030」（以下「ビジョン」という。）を2020年11月に策定しました。
- ビジョンの推進に当たっては、毎年度、年次レポートを作成し、ビジョンに示されている政策の進捗状況や新たに取り組むべき課題の把握など、ビジョンのさらなる充実を図るとともに、社会経済の変化に応じたビジョンの点検・見直しなどを行っていくこととしています。
- ビジョン推進中期の2年目となる2025年度は、ビジョン策定以降の社会経済の変化を踏まえた、愛知の地域づくりを巡るテーマについて分析を行うとともに、ビジョンで示した4つの「めざすべき愛知の姿」の実現に向けたこれまでの取組状況や今後の方向について紹介する「あいちレポート2025」を取りまとめました。

<あいちビジョン2030 年次レポート作成経緯>

2021年度	2021-2023 実施計画
2022年度	あいちレポート2022
2023年度	フォローアップ報告書
2024年度	2024-2026 実施計画
2025年度	あいちレポート2025

## 2 構成

- このレポートは、以下の2章で構成しています。

### 第1章 愛知の地域づくりを巡る現状と課題

ビジョン策定以降の社会経済の変化を踏まえた、愛知の地域づくりを巡るテーマについて統計データを用いて詳細な分析を行い、課題を明らかにしています。

### 第2章 めざすべき愛知の姿の実現に向けた取組と今後の方向

「あいちビジョン2030」で示した4つの「めざすべき愛知の姿」(※)の実現に向け、ビジョン策定以降に顕在化した政策課題等も踏まえた、これまでの取組状況や今後の方向について紹介しています。

※①すべての人が生涯輝き、活躍できる愛知

②イノベーションを創出する愛知

③世界から選ばれる魅力的な愛知

④危機に強い愛知